

## ニュージーランド軍、西太平洋の島にクリスマスをお届け *RNZAF brings Christmas cheer to Western Pacific*

December 16, 2019

By Staff Sgt. Kyle Johnson  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 12月11日、クリスマスドロップ作戦の準備を行うグアム島アンダーセン空軍基地で、飛行前点検を行うニュージーランド空軍トニー・トンプソン伍長。

今年で68年目を迎えるクリスマスドロップ作戦は、世界で最も長く続けられている空中投下訓練のミッションであり、180万平方海里に及ぶ作戦エリアの55のミクロネシアの島に暮らす約2万人に生活必需物資をお届け。



1

(写真2) グアム島アンダーセン空軍基地で、クリスマスドロップ作戦の低コスト低高度物資の準備をするニュージーランド空軍と米空軍の乗員。

クリスマスドロップ作戦は、米空軍、航空自衛隊、オーストラリア空軍、ニュージーランド空軍のC-130乗員が、太平洋の未調査の投下地点に物資を空中投下する訓練を行うための四カ国間軍事訓練のミッションである。



2

(写真3) C-130からミクロネシアの島に物資を空中投下した後、島民に手を振るニュージーランド空軍のロードマスターのトニー・トンプソン伍長(左)とイーサン・モラン軍曹(右)。



3